

議会だより かどがわ

May.
2015

5

No.142

目指せ！完走！



- ・ 平成27年度当初予算 2P
- ・ 委員会報告 5P
- ・ 一般質問 4人が登壇 8P
- ・ 議員研修会 議員表彰 13P

平成27年度 一般会計 当初予算

73億1800万円

平成27年第1回定例会

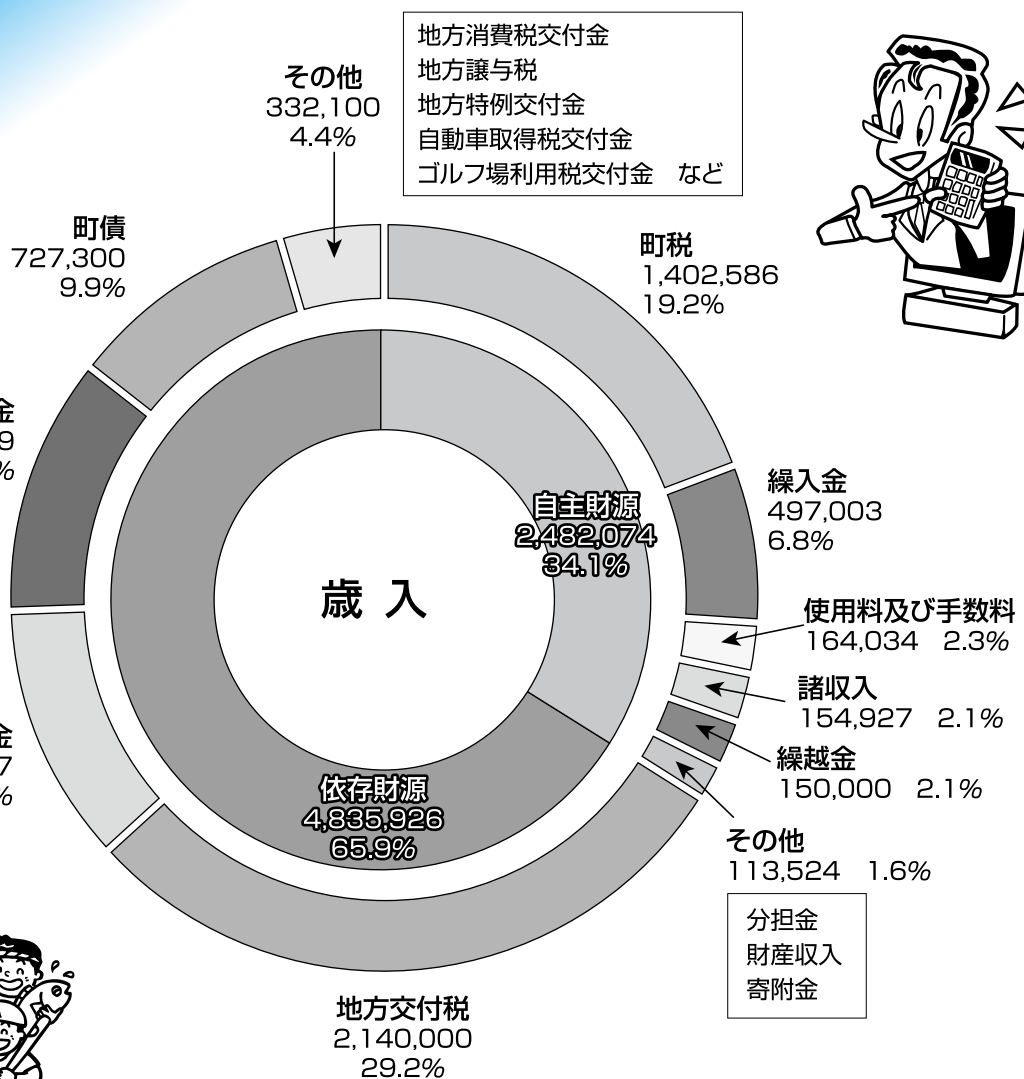
平成27年第1回定例会は、3月10日から26日までの17日間開かれました。

今議会において、諮問1件、同意案3件、承認1件、条例改正6件、条例制定4件、その他3件及び平成26年度補正予算4件、平成27年度当初予算6件及び議員発議1件の計29件を審議し、全て原案通り可決いたしました。尚、一般会計予算、特別会計予算については各委員会へ付託し、審議しました。

また一般質問では3月24日に4人の議員が登壇し、町政について論戦を行いました。

会計

単位； 千円



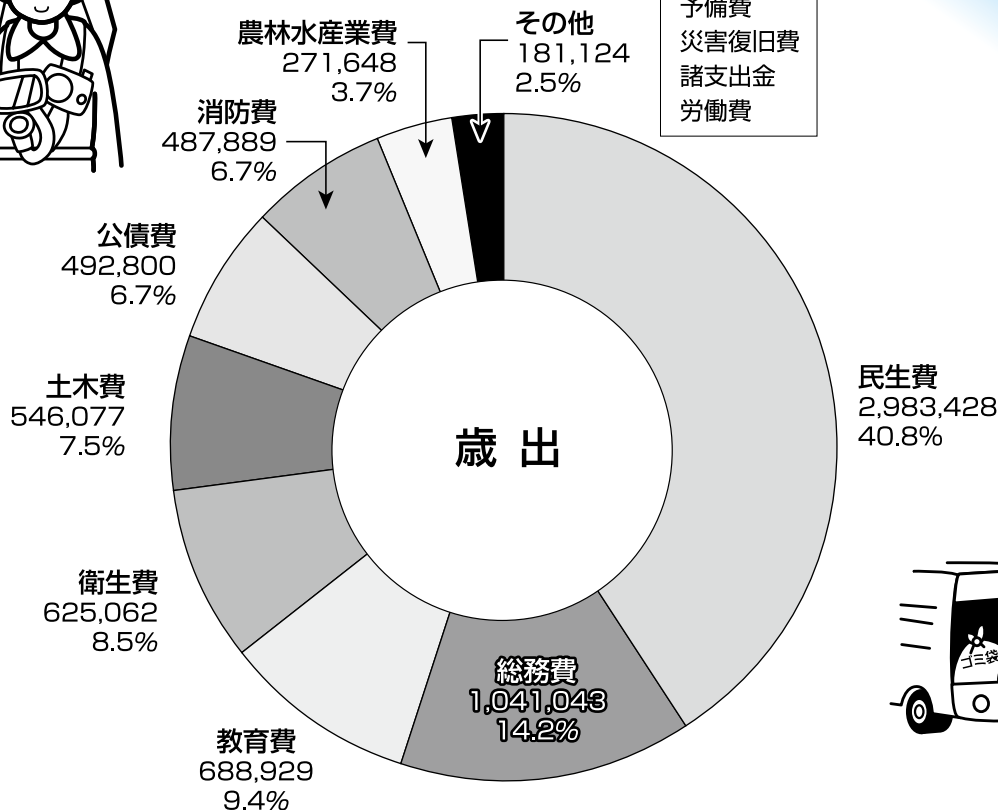
可決
賛成多数

前年度比 20%、
12億1800万円増額

当初予算の構成

※ 一般会計、特別会計、公営企業会計を合計した門川町総予算規模は、128億5511万6千円
平成26年度当初予算と比較し**14.3パーセント、16億812万6千円の増額**。主な要因としては『安全・安心なまちづくりのための防災・道路などのインフラ整備』、『安心して暮らし続けられる地域福祉の充実』のため、4ページにあげた重点課題事業などへの予算編成などがあげられる。

自主財源 34.1% (H26年度当初 38.7%)
依存財源 65.9% (H26年度当初 61.3%)



議会費
商工費
予備費
災害復旧費
諸支出金
労働費

一般



◎特別会計◎

国民健康保険事業 31億2368万4千円 (13.8%増)
後期高齢者医療 4億1363万円 (4.2%増)
介護保険事業 15億2082万2千円 (0.3%増)
簡易水道事業 1219万3千円 (10.5%減)

◎公営企業会計◎

水道事業 4億6678万7千円 (0.1%増)

.....今年度のこんな事業に注目!.....

- ※ 町制施行80周年 町民体育大会事業
- ※ 児童措置事業、母子父子福祉事業
- ※ スマートインターチェンジ整備事業
- ※ 門川高校通線整備事業
- ※ トビノ木橋架替え事業
- ※ 松瀬～川水流線整備事業
- ※ 中央公民館耐震改修事業
- ※ 浄化槽設置補助事業(160基分)
- ※ ETC車載器設置補助事業
- ※ 防災行政無線設置事業
- ※ 子育て支援、子育て世帯給付金事業
- ※ 子育て支援お祝い(80周年記念)事業

婚姻・出生届け時にマスコット・ストラップ贈呈



かどっぴー ふわふわ

平成26年度 補正予算

(歳入歳出をそれぞれ1億3153万4千円を追加し、予算総額を75億9624万2千円)

一般会計

主なもの

歳入			歳出		
・国庫支出金	7540万5千円	追加	・人件費	4969万2千円	減額
・県支出金	2739万6千円	追加	・国交付金	1億1601万3千円	追加
・町債	2276万5千円	追加	・予備費	1億 963万6千円	追加

特別会計

(歳入・歳出をそれぞれ補正)

			総額
・国民健康保険事業	1355万7千円	追加	29億3912万7千円
・後期高齢者医療	418万9千円	追加	4億1635万3千円
・介護保険事業	5210万5千円	減額	15億4355万円

総務財政常任委員会

前年度からの継続事業や 新規事業で予算規模大幅増額

継続 デジタル防災行政無線設置事業
門川南スマートインターチェンジ(仮称)整備
子育て世帯臨時特例給付金事業

新規 中央公民館耐震改修事業 など

歳入

依存財源として、地方交付税21億4000万円、国庫支出金8億1546万9千円、県支出金8億2105万7千円、町債が7億2730万円であり、全体では、7・7%増額、48億3592万6千円となり、依存財源比率は、65・9%です。

自主財源として、個人町民税が1・9%の減額、法人町民税は3・3%の増額、固定資産

歳出

目的別では、民生費が29億8342万8千円、総務費10億4104万3千円、教育費6億8892万9千円、衛生費6億2506万2千円となっています。性質別に見ると人件費など義務的経費は34億5766万1千円、物件費など一般行政経費が27億8536万6千円、投資的経費が10億7497万3千円となっています。

次に関係各課の項目別予算、事業別予算について主なもの

議会費

議員報酬、先進地視察調査費など
1億2003万3千円

総務費

地区会長報酬、電算管理、整備事業、総合窓口案内事業、宮崎県議会議員選挙事業など
10億4104万3千円

電算事務費 電算整備事業

ノートパソコン130台、プリンター30台分
備品購入代など
3400万円

福祉健康交流研修施設 管理費(心の杜)

燃料・光熱水・賄材料費等需要費
8315万円

施設管理委託料

8989万3千円

消防費

※広域消防業務負担金
※非常備消防費
※デジタル防災行政無線設置工事費など
4億8788万9千円



主な質疑

問 防犯灯のLED化の進捗状況は?

答 工事代金の70%補助もあり、徐々に進んでいる。

問 デジタル防災行政無線等整備事業の進捗状況は? スピーカー音の聞き取りにくい地域の解消は?

答 現在、業者と現地調査中、スピーカーの新規設置より、既存機器の利用での対応の方がよい場合もあり、よりよい情報伝達のために検討中。移動系無線は7月頃、同報系については12月末頃の完成を予定している。

問 ふるさと納税の考え方と寄付金への報償品は?

答 今回の予算では、今までの実績から1件あたり1万円の寄付金80件で予算を立てている。お返しは門川町PR手段のひとつとして農・水産加工品をお返ししている。国から示されているように寄付金が高額でもあまり華美にならないよう、また、寄付金の趣旨から外れないよう取扱規定を定めている。これらの品目については、寄付者を選択して頂けるようメニュー化して対応する予定。

問 固定資産評価替えの影響は?

答 固定資産価額は毎年変動するが、評価替えは3年に一度実施され3年分が一度に下がりが影響は少なくない。

問 納税に関するキャンペーンは行っているか? また、滞納者にはどのような対応をしているのか?

答 自動車税、軽自動車税については県と合同のキャンペーンを行う

う予定。滞納者へは納付期限後20日以内に督促状、その後10日経過すると差し押さえ義務が発生する。その間に納税相談、催告状の送付、その後財産差し押さえをする場合もある。



総括意見

本町は行財政改革等において職員数削減に努力しているが、現在、職員数は定数より24名少ない状況にある。今後の職員の適正数の検討と職員育成について研究を望むものであります。また、予算については適正かつ迅速な執行と住民福祉の向上を図るよう望みます。

(記 米良)

文教厚生常任委員会

一般会計

老人福祉費や児童措置費など前年度費8・7%増額で29億8342万円になっています。

民生費

主なものは総合福祉センターの管理委託料、改修工事費、配食サービス委託料、障がい者支援事業委託料、障がい福祉サービス給付費（15事業）平城保育園の床整備工事、私立保育園運営費と児童手当など。

また国民健康保険、介護保険事業、後期高齢者医療などの特別会計への繰出金もあります。

衛生費

予防費や二次救急医療体制整備事業への負担金及び働く世代の女性支援のためのがん検診事業（子宮・乳がん検診クーポン券）など。

教育費

学校教育費は学力向上支援事業、各小中学校運営費、共同調理場費など。

社会教育費は、中央公民館耐震改修費、海浜公園、勤労者体育館修理工事費、生涯学習各種民主団体への負担金、補助金、図書館業務委託料など。

特別会計

国民健康保険事業

一人あたりの医療費の伸びや一般会計や県への償還財源を確保するために保険税を4・3%引き上げています。また大幅な保険税率引き上げを緩和するため、基金を4000万円取り崩し一般会計からも3000万円の法定外繰入れをしています。

後期高齢者医療

歳入歳出とも4・18%増になっています。歳入は保険料と一般会計からの繰入金で、歳出は後期高齢者医療広域連合への納付金が主です。

介護保険事業

歳入歳出0・3%の減です。

歳出の主なものは居宅介護サービス給付費で、地域支援事業等に対策を講じた予算となっています。

主な質疑

問 やっちみろや健康づくり第1次と2次の違いは

答 2次では「食と運動・休養・検診」の3分野で重点的・専門的に取り組んでいく。

問 施設給付介護費3300万円ほどマイナスになっている理由は

答 施設には特別養護老人ホーム・老人保健施設・介護療養型施設の3つの施設サービスがあり、26年度は利用率が下がっていたのでそれに合わせた。

問 ICT教育推進について

答 文科省が2020年には一人1台のタブレット教育を推進している。まずは、先生たちに使いこなしていたくため、専門家に指導してもらう。

問 図書館運営について

答 いろいろな資料を活用して、問題を解決する力を身につけることが全国的な課題なので図書館にある参考書・資料の活用を強化していく。

問 図書館の開館時間などの改善は

答 県内の状況を見ながら、図書館協議会の中で検討していく

問 中央公民館の耐震改修について

答 業者選定については指名審査会の中において協議していくことになる。

まとめ

平成27年度一般会計は、教育の充実、防災、減殺事業の拡充、少子高齢化の進展など社会保障関係の増加が見込まれるなど厳しい財政運営が予想されます。

また国民健康保険も一人あたりの医療費が増加傾向になっていることからきわめて厳しい財政運営を強いられています。安定した事業運営ができるよう、財政健全化に向けた施策が重要であります。

（記 神崎）



さわやか検診



図書寄贈式（草川小学校）

産業建設常任委員会

一般会計

産業振興課

農林水産業費は、2億7164万円。

うち、農業委員会費は887万円で、農業委員の報酬が主で、耕作放棄地の調査など。

農業振興費は1497万円で、青年就農給付金487万円など。

畜産業費996万円の主なものは、228万円の家畜改良増殖対策肉用牛導人事業補助金、研修施設管理費の427万円は、五十鈴加工センターの管理費。

中山間地域総合整備事業費として284万円を計上。

防災ダム管理費199万円の主なものは、委託料68万円でダム施設管理委託料など。

農地費は、2651万円で、主なものは、塩屋崎地区農道整備工事請負費1125万円が計上されています。

本文中の金額は、万円未満を切り捨てています。

林業費は5164万円で林道・津々良・小野線改良工事請負費300万円を計上。

水産業費は、9591万円で、水産業振興費7171万円、漁港建設費929万円などを計上。

商工費は5642万円で、商工振興費2504万円、観光費1645万円などが組まれています。

土木費は5億4607万円を計上。

道路維持費は1億946万円で、主にトビノ木橋上部工及び附帯工事費7700万円。

道路新設改良費は1億3325万円で、主に松瀬・川水流線他の工事請負費1億2800万円。

下水路費は1627万円、河川改良費は206万円、都市下水路

建設課

環境水道課

衛生費は4億1678万円。環境衛生費1億3792万円は、浄化槽設置補助金7277万円で160基分が主なもの。

塵芥処理費は2億179万円で、主なものは、日向東白杵広域連合ごみ運営事業およびごみ建設事業の負担金8261万円など。

し尿処理費6706万円の主なものは需用費2700万円で、機器の修繕料800万円などが含まれています。



工事が進むトビノ木橋（三ヶ瀬川）

特別会計

簡易水道事業

予算額は1219万円で歳入の主なものは、使用料478万円、繰入金640万円。歳出では、主なものに機器修繕料190万円、委託料206万円。

水道事業

給水戸数7328戸、年間総給水量235万7千立方メートルで、収益的収入の主なものは給水収益の水道料金3億85万円。また、収益的支出の予算総額は3億1204万円。

次に資本的収入の予算総額は336万円で消火栓設置工事負担金。資本的支出の予算総額は1億5474万円で、その主なものは配水管整備事業費3700万円、企業債償還金1億1409万円など。

主な質疑

（産業振興課）

問 耕作放棄地は今後、増える傾向にあるのか。

答 横ばい、若しくは少しずつ解消はしています。

26年度では、4千㎡ほど解消している。

問 サル、シカによる椎茸栽培の被害状況はどうか。椎茸栽培に補助を行っているのか。

答 ホダ場をサルの一団が通れば、壊滅的な状況になる。本年1月初旬にホダ場が荒らされて全滅。その2週間後に新たに根付いていたホダ場にサルの一団が入り全滅した。ネットを張る等の対策もあり効果が無い。

椎茸栽培に関して補助はしていない。

（建設課）

問 中須ポンプ場のバツテリーの寿命はどれくらいなのか。

答 バツテリーの寿命は、5年程かと考える。今回は4年で壊れたので若干早いような気はする。今後様子を見ていきたい。

問 町道維持オーバーレイ及び改修工事の施工場所はどこか。

答 27年度については、三ヶ瀬地区の路面補修

をメインに行いたい。

問 トビノ木橋の架け替え工事は27年度で完了するのか。

答 橋梁新設工事は完了するが、28年度に旧橋の撤去工事を予定している。

（環境水道課）

問 配水管布設替え工事、取り替える基準があるのか。

答 特に基準はない。耐用年数を過ぎたものから、年次的に行っているが、漏水が頻発しているところから優先して取り替えている。

問 宅内で漏水している場合、積極的に使用者に知らせているのか。

答 検針員から漏水している事を口頭で伝えるか、お知らせ票を渡している。

問 ゴミの不法投棄の状況はどうか。

答 26年度は、五十鈴川沿いの斜面に投げ捨てられているのが多かった。なかにはブラウン管テレビ等が捨てられていた。（記 森川）

一般質問

町政を問う4人が登壇!!

遠見山周辺の整備は

米良 昭平



町長

遠見半島線の一部改良を県に要望



遠見半島線

問 遠見山周辺の道路の拡幅整備計画を聞きたい。

町長

近年、遠見半島にある私設庭園が観光地化していることもあり、時期によって、幅員の狭い区間で、観光バスの通行や往復車両の離合など、通行に支障をきたしている。

このような状況を踏まえ、毎年の県への要望において、遠見半島線の遠見山展望台入口

までの改良をあげている。

町道では、一部路線で継続して改良を実施している。普通林道では、幅員4mで延長780mをコンクリート舗装している。遊歩道では、生活環境保全林事業地内に幅員1・5mの遊歩道が整備されており、あずま屋などの休憩施設を併せて利用することとで、林業の持つ保健休養機能を十分に満喫できる公園になっている。また、ソメイヨシノなど多種が植栽されており、

季節ごとに花や実を付けていることから、園内外の作業道で効率的な管理を行っている。

問 狗山城跡の公園化を

町長 門川城・別名狗

山城、福寿寺、五十鈴川の日向市側にある江戸時代の陣屋跡を整備し、公園化する考えはないか。

町長

門川城跡は、本町の貴重な史跡であることから、今後とも地元住



狗山城跡

民にとって身近なものとなっていくように、引き続き県指定文化財とするよう県へ働きかけていくことが、これからの機運の高まりにつながっていくと思う。

福寿寺跡と江戸時代の陣屋跡については、現状の問題などもあり、また文化的位置づけすべき資料などもなく、歴史的経緯の把握もできていない状況で、現状での整備公園化は困難と認識している。



木造住宅密集地に 「まちかど消火栓」の設置を

菊地 稿治

町長 既存の消火栓を活用していく

問 消防車が入ることが出来ない狭い道しかない木造住宅が密集した地域がある。特に、尾末、納屋地区は道が狭い上、住民は高齢者の方がほとんどである。

一旦火災が発生したら消火作業はとても困難な状況になり、広範囲に延焼することが予想される。このような場合に備えて、水道の蛇口に接続するだけで、女性や高齢者の方など、誰でも容易に使用出来る「まちかど消火栓」を設置し、初期消火が行えるようにしてはどうか。

町長 木造住宅の密集している尾末地区からは、地域の要望により十数年前に、消火栓を地下式から地上式に切り替え、年末には地元の消防団と住民とが操作訓練も行っている。

初期消火を円滑に図るために、住宅用火災警報器の導入に向けた

取り組みや、地区内消火器点検の機会を通して、初期消火活動の重要性を住民の方に伝えていく



まちかど消火栓

「心の体温計」ホームページ導入は

問 「心の体温計」はパソコンや携帯電話で自分や家族などのストレスや落ち込み度をチェックできるアプリで、気軽にアクセスして簡単な質問に回答すると、チェック結果が表示される。

また、「いじめのサイン守ってあげたい」は、子どもの様子がおかし

いと思った保護者の方が、同様に質問に回答すると結果が表示されるものである。

このようなアプリを町のホームページに導入する事で、うつ病やいじめを早期に見つけ、対策を立てられるようにしてはどうか。

町長 本町では、各相談機関を掲載した「心の電話帳」を全世帯に配布している。これには、県内100近くの相談機関が掲載され、相談員による相談ができるようになっている。また、役場玄関フロアには、立て看板を設置し自殺やアルコール依存症の相談窓口を紹介している。

子どもをいじめから守るためのサイトも、インターネットを検索すると多数アップされている。これら民間サイトも個人で自由に活用出来るため、ホームページへの掲載は、よ

り専門性の高い相談機関の紹介のみとしていきたい。

学校におけるがん教育について

問 「親の生活改善を子どもが促す」、つまり、がん教育を受けた子供たちが、親にがん検診を勧めたり、禁煙や生活習慣の改善を求めたりする、それに親が応える、という効果が大きく期待される。

このように、子ども達への「がんに関する教育」は重要であると考え、導入を検討すべきではないか。

教育長

本町では、現在小・中学校において、がんに関連した教育ではなく、体育科の保健領域や学校行事の中で、喫煙・飲酒・薬物乱用等が及ぼす健康への影響や、生活習慣病の予防に関する指導等を行っている。

特に、喫煙について

は肺がんにかかりやすくなることを理解させ、外部講師を招き専門的な立場からの具体的な指導を行っている。

「がんに関する教育」の重要性は増してくるものと思うので、国の動きに注目しながら、本町の実態に応じた取り組みについて研究して参りたい。



肺がん検診車

津波、避難困難地域はないのか 水永 正継



町長 町内68ヶ所、一時避難場所がある

問 多くの住民が津波発生時の避難について不安を抱いている。国土交通省の指針では「津波の到達時間内に徒歩で避難施設にたどり着くのが不可能な場所を特定避難困難地域」と位置づけ、解消に努めるよう要請しているが、門川町には「避難困難地域はない」と報道されている。事実だとすれば、この認識は住民の心配とかけ離れていると思われるが、門川町の避難対策について伺いたい。

町長 総務省消防庁の「津波避難対策マニュアル」に、避難できる限界の距離は最長でも500m程度を目安とするとある。本町には各地区が定めた津波の一時避難場所が68ヶ所あり、500mの円同士が幾重にも重なるので、地域住民の命が助かる場所はあると考える。

問 南海トラフ巨大地震の最大クラスが発生した場合の最短津波到達時間、最大の津波高さに現状のまま対処できるのか。

町長 津波避難を徹底することが人的被害を軽減するので、各地区の防災・減災活動への支援策を通じて、地域住民の自助・共助の育成を図っていききたい。

問 高齢者・体の不自由な人等の避難が心配されるが、対策は。

町長 改正災害対策基本法に、災害時に支援を要する「避難行動要支援者名簿」の作成が求められている。地域包括支援センターや役場福祉課で活用している「地域福祉支援システム」で管理している高齢者や体の不自由な方の名簿をもとに、更なる情報充実に取り組む。

問 児童生徒が登下校中、津波発生に遭遇した場合の対処について学校や家庭での指導は。

町長 各小・中学校の防災教育で、できるだけ高い所へ避難するよう指導している。また、地域の防災訓練の参加や本年2月県危機管理課より県内の公立小・中学校の児童・生徒に防災資料が配布され、家庭での防災啓発も実施されている。

問 門川神社のある愛宕山や平城近隣公園は、津波避難場所として好適と考えられるが、東日本大震災後、整備はほとんどされていない。将来の構想は。

町長 現時点での具体的な活用対策は決まっていない。防災・減災事業については国・県等の関係機関とも協議しながら事業を推進している。



平城近隣公園(松寿園跡地)

ハード面の整備には多額の経費がかかるので、優先的な事業から鋭意取り組んでいきたい。

問 町内の道路について、交通弱者に対して配慮のない道路状況がいたるところに見られるが、今後の整備は。

町長 町内の道路は、町道531路線、県道5路線、国道2路線があり、各管理機関で道路の安全対策や老朽化対策など維持管理に努めている。路面の凹凸については、市街地の道路の大部分は老朽化が進行している。平成25年度の市街



道路の段差

地の主な町道63路線のわだち掘れ、ひび割れ調査に基づき、逐次改善を行っていく。車道と歩道の乗り入れ部分の段差については、車椅子や自転車等の乗り入れに支障のあるところの現地調査を行い対応していきたい。そのほか、側溝蓋のぐらつき、舗装の損傷等は、道路点検や住民通報により適宜対応していく。今後の高齢化社会における交通施設のバリアフリー化は重要な課題であり、努力していきたい。



庵川の藻場・干潟を 環境教育の場に

神崎千香子

町長 干潟保全会などの活動を継続していく

町長

「庵川藻場干潟保全会」
「門川湾を再生する会」
など各漁協が藻場の保
全活動など取り組んで
おり、この活動を継続
していくことが環境教

問 庵川の藻場・干
潟は宮崎大学の三浦教
授によると門川湾には
アカメ、ドロクイなど
環境省絶滅危惧種の魚
アマモ、コアマモなど
海藻類の群落、貝やカ
ニだけでも200種類
を超える生物多様な貴
重場所とのことでした。
この場所を子どもた
ちの環境教育の場とし
て活かすための協議会
設置が必要ではないか。



三浦知之教授(宮崎大学)



庵川藻場・干潟の勉強会(庵川東公民館)

育、町づくりにもつな
がる。
門川の藻場は以前か
ら優良の藻場として認
識されている。藻場の
保全活動については、
国の方針では今後生物
量測定により具体的な
成果を求められるよう
になってきている。そ
のため保全会の活動は
ますます重要になって
くる。
地元で環境保全の奉
仕活動をしている方々、
関係機関と協議しなが
ら協議会設置に向けて
検討していく。

町長

問 藻場干潟の事業
については5力年の成
果で対策など明確にな
ってくるこの事だった。
ちょうど5年経ってい
る。
多面的な検証をどの
ようにしていくのか。

ダイバーの調査によ
るとカジメ等の繁殖拡
大が確認されている。
長期的な視点で、地
元と相談をしながら進
めていく。

産業振興課長

ダイバーによる調査
は毎年継続しているの
で今後の対策につなが
る。また国の方針の生
物量測定調査を取り入
れる。

問 せっかく、10号
線の近くに素晴らしい
海がある。専門家を入
れて、海の汚染も含め
て抜本的な調査が必要
ではないか。

福祉課長

「こども・子育て支
援計画」の中で平成27
年から31年までの間に
1カ所の開設を目指し
ている。

病後児保育は

問 病後児保育のニ
ーズは高い。どうなっ
ているのか。



平城保育所

人事案件

人権擁護委員の推薦

任期満了による次期委員の推薦について、意見を求めるもの。

橋口総子氏（新任、南町在住）

（承認）

東臼杵郡公平委員会委員の選任

任期満了による次期委員の選任について、同意を求めるもの。

本田芳秋氏（門川町在住）

中塩屋敏幸氏（美郷町在住）

尾形仁巳氏（諸塚村在住）

（同意・全員賛成）

規約変更

耳川流域木材加工団地

国土調査の成果により、共有地の地番が変更になったので、規約の一部を変更するもの。

（可決・全員賛成）

条例改正

非常勤特別職職員の報酬等

町有林看守人および西門川総合活性化センター管理人の業務に係る経費を委託料から報酬に組換え、鳥獣被害対策実施隊の報酬体系を日額から月額に改正するもの。

（可決・全員賛成）

一般職職員の給与

国、県に準じ、世代間の給与配分見直しの観点から、職員の月例給を平均2%引き下げる給料表の改定を行うとともに、管理職員特別勤務手当を人事院勧告に準じて、災害対処等の臨時・緊急の必要により、平日深夜に勤務した場合にも支給するよう改正するもの。

（可決・賛成多数）

消防団員の給与

日向支部管内の消防団報酬額と同程度となるように、班長および団員の報酬を、それぞれ年1500円増額するよう改正するもの。

（可決・全員賛成）

火災予防条例

昭和57年より消防に関する事務を日向市に委託しており、本町条例を同市の条例を適用するよう改正するもの。

（可決・全員賛成）

町税条例

固定資産税第1期の納付期間を平成27年度に限り、5月1日から同月31日とするもの。

（可決・全員賛成）

介護保険条例

介護保険法の改正に伴い、介護保険料の所得段階区分を、現在の6段階から9段階へと変更し、平成27年度から3年間の第1号保険者の介護保険料を変更するもの。また、本町の総合事業の開始時期を平成29年4月1日とするもの。

（可決・賛成多数）

条例の制定

町立保育所の保育給付

子ども・子育て支援法制定により、町立保育所の位置付けが同法に沿うよう条例を制定するもの。

（可決・全員賛成）

地域包括支援センターが包括的支援事業を実施するための基準

指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準

介護保険法の一部改正に伴い、これまで全国一律に定められていた2の基準を、町条例で定めることとされたため制定するもの。

異なる基準を特別に定めず、国の基準を基本に制定する。

なお、指定介護予防支援等では、暴力団等を排除する規定を追加し、提供に関する記録の保存期間を国の

基準より長い5年間とした。

（可決・全員賛成）

地方教育行政の組織と運営

地方教育行政の組織と運営に関する法律の一部改正に伴い、本町の関係する条例を一部改正するもの。首長と教育委員会の連携強化、地方に関する国の関与の見直し等制度の抜本的な改革を目的に改正する。なお、現教育長の在任期間は、改正前の条例を適用する。

（可決・賛成多数）

教育長の勤務時間、休暇等

地方教育行政の組織と運営に関する法律の一部改正に伴い、教育長の勤務時間、休暇等とともに職務専念義務の特例に関して必要事項を定めるもの。

（可決・賛成多数）

町道認定廃止

土有・太田線および海田2号線の2路線を一旦廃止し、前者の起点、後者の終点を変更して、同じ路線名で再認定する。また、橋の口1号線、五十鈴小学校通線の2路線を新に認定するもの。

（可決・全員賛成）

議員研修会

平成27年3月30日に宮崎県町村議会議長会局長
崎村 卓史氏を講師にお招きし、研修会を行いました。

議会の運営について

内容

1. 議会の運営
2. 一般質問
3. 議員の心構え



議員表彰



安田 茂 明 議員
宮崎県町村議議長会表彰
正副議長6年以上・議員歴20年以上



朝倉 利 文 議員
全国町村議議長会表彰
議員歴15年以上

おめでとうございます。



内山田 善 信 議員
宮崎県町村議議長会表彰
議員歴12年以上



小 林 芳 彦 議員
宮崎県町村議議長会表彰
議員歴12年以上

議会構成がきまりました

●正副議長

議長 安田 茂明

副議長 森 誠一

●常任委員会 ○委員長 ○副委員長



総務財政 委員会

◎内山田 善 信
○岩 佐 祐 一
米 良 格
安 藤 福 松
安 田 茂 明



文教厚生 委員会

◎請 関 義 人
○神 崎 千 香
黒 木 裕
小 林 彦
森 芳 一



産業建設 委員会

◎菊 地 稿 治
○森 川 春 夫
水 永 正 昭
米 良 昭 平

議会運営 委員会

◎安 藤 福 松
○米 良 昭 平
内山田 善 信
請 関 義 人
菊 地 稿 治
森 芳 一

各種委員会

日向東臼杵広域連合議会議員

安 田 茂 明
内山田 善 信
菊 地 稿 治

宮崎県北部広域連合 事務組合議会議員

森 誠 一
菊 地 稿 治

議会選出監査委員

小 林 芳 彦



委員 神崎千香子
副委員長 森川 春夫
委員長 森 誠一
委員 米良 格

(記 森)

編集後記



今年、町制施行80周年を迎え、記念式典が2月11日に行われました。

記念の年に明るいニュースがありました。門川中学校野球部が第6回文部科学大臣杯全日本少年春季軟式野球大会で、優勝の快挙を果たしました。大変うれしお知らせでした。

広報編集委員のメンバーが変わりました。町民に発行が楽しみにしてもらえ、議会だよりになるよう努めてまいります。

■発行者／門川町議会議長 安田茂明

■編集／議会広報編集特別委員会

〒889-0696

宮崎県東臼杵郡門川町本町

TEL (0982) 63-1140

■印刷／有限会社 第一印刷